

韓国で豚コレラが発生しました！

平成28年6月28日、韓国家畜衛生当局は、韓国済州島の豚繁殖農場において豚コレラの野外ウイルスが検出されたと発表しました。韓国では現在、豚コレラワクチンは済州島を除いて全国的に接種を実施中ですが、済州島は1998年から接種していませんでした。韓国における本病の発生は、2013年11月28日の発生以降、約3年ぶりとなりますが、済州島においては約18年ぶりの本病発生となっています。

豚コレラとは？

- ・「豚コレラウイルス」によって、豚、いのしし等が感染する急性ウイルス性感染症です。
- ・高熱、元気消失、起立困難～不能、食欲不振などを引き起こし、重症の場合、致死率(80%以上)が高いのが特徴です。なお、本病は家畜伝染病に指定されております。(人畜共通感染症ではありません。)

防疫対策は？

これから夏季休暇の時期を迎え、人や物の移動も盛んになることから、飼養衛生管理基準を遵守し、防疫対策に万全を期されるようお願いいたします。

特に注意したいことは、

- ・畜舎や器具の清掃・消毒の実施(消石灰液、炭酸ソーダ液等が有効です)
- ・衛生管理区域への人や車両の出入りの制限
- ・畜産物の残さを給与している場合には、加熱処理の徹底です。

また、口蹄疫の対応と同様に、特に畜産関係者の豚コレラ発生国への渡航および発生している国の畜産関連施設からの郵便物等の受取りを可能な限り自粛してください。

韓国における豚コレラの発生状況(2016年～)



飼養している家畜に異状が認められた場合は、直ちに家畜保健衛生所に連絡してください。